



# 平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月5日

上場取引所 東

上場会社名 セーレン株式会社  
 コード番号 3569 URL <http://www.seiren.com>  
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 総務担当  
 四半期報告書提出予定日 平成25年2月14日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 川田 達男  
 (氏名) 坪田 敏郎

TEL 0776-35-2111

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	68,651	7.6	3,200	14.8	3,463	21.6	2,026	38.3
24年3月期第3四半期	63,780	△2.1	2,787	△16.4	2,848	△20.3	1,465	△19.1

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 2,187百万円 (691.9%) 24年3月期第3四半期 276百万円 (△72.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	34.09	—
24年3月期第3四半期	24.45	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第3四半期	88,809	47,656	53.1	793.26
24年3月期	88,703	46,079	51.4	766.98

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 47,169百万円 24年3月期 45,606百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
25年3月期	—	5.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	7.50	12.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	90,600	5.3	4,200	17.8	4,500	16.2	2,600	22.7	43.73

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は添付資料4ページ「2. サマリー情報(その他)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期3Q	64,633,646 株	24年3月期	64,633,646 株
25年3月期3Q	5,171,132 株	24年3月期	5,171,117 株
25年3月期3Q	59,462,528 株	24年3月期3Q	59,925,582 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

【添付資料】

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	4
2. サマリー情報（その他）に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書 .....	7
第3四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書 .....	8
第3四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	10
(5) セグメント情報等 .....	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期における日本経済は、東日本大震災からの復興需要や政策効果により緩やかな回復傾向がみられましたが、欧州債務問題や新興国経済の減速、さらに日中関係の悪化など、依然として不透明な経営環境が続いております。

当社グループでは、「21世紀型企业への変革!」を中期方針に掲げ、変化し続ける経営環境においても、常にお客様のニーズに応え、かつ安定した収益確保と継続的な企業成長を果たすため、“新規事業の創出”と“グローバル事業の拡大”を柱とした中期事業戦略に取り組んでおります。併せて、生産性向上や業務の効率化・改善、徹底した経費削減による収益力強化を図るとともに、中期事業戦略の遂行に必要な人材育成および組織機能の拡充など、企業体質の強化に注力しております。また、グループ関連会社におきましては、一層の経営効率化を図るため、事業の見直し、およびそれに伴う統合を行いました。

当第3四半期の連結業績は、売上高 686 億 51 百万円（前年同期比 7.6%増）、営業利益 32 億円（同 14.8%増）、経常利益 34 億 63 百万円（同 21.6%増）、四半期純利益 20 億 26 百万円（同 38.3%増）となりました。

セグメント別の業績概況は、次のとおりです。

なお、第2四半期より、事業領域の拡張を鑑みて、従来の「オートモーティブ」は「車輛資材」に、「インテリア・ハウジング」は「環境・生活資材」に、セグメントの名称をそれぞれ変更しております。

## (車輛資材事業)

国内事業では、年後半は中国における日本車販売台数の減少による大きな影響を受けましたが、前半のエコカー補助金効果等による需要回復を背景に、前年同期比増収・増益となりました。また、当事業の戦略商品として拡販を進める高付加価値商品「革を超える新素材（QUOLE）」が、市場で高い評価を受けて売上高を伸ばすとともに、さらなる増注に対応すべく、海外子会社での生産ラインが本格稼働を開始いたしました。

海外事業（2012年1-9月）では、北米をはじめ中国、タイにおける日系自動車メーカーの生産増加を受け、現地子会社が大幅に売上高を伸ばしました。また、インド・インドネシアでは新会社を設立し、2013年中頃の生産開始に向けて工場建設を進めております。

当事業の売上高は 345 億 94 百万円（前年同期比 21.3%増）、営業利益 21 億 36 百万円（同 65.5%増）となりました。

## (ハイファッション事業)

ファッション衣料およびスポーツ衣料の市場は、前年の震災影響による反動増により回復の動きがみられるものの、長引くデフレや消費者の節約意識の定着により、市場における企業間競争はより厳しさを増しています。

ファッション事業全体では、国内および海外市場の市況悪化を受け、スポーツ・インナー事業ならびにKBセーレン(株)の原糸販売で売上高を落とし、前年同期比減収・減益となりました。その一方、ビスコテックス事業については、多品種・小ロット・短納期を実現する独自技術のビスコテックス生産システムや、機能素材と差別化企画を融合したビスコマテリアル商品が多様化する消費者ニーズに合致し、前年同期比増収・増益となりました。

海外事業では、2012年3月にタイ子会社のサハセーレンにおいて衣料製品の生産を開始しております。価格競争力のある差別化商品を提供するとともに、同一工場内で原糸から製品までの全工程を一貫管理することで実現する“高い品質”と“確かな納期管理”を強みに、今後、拡販を進めてまいります。

当事業の売上高は 209 億 91 百万円（前年同期比 1.7%減）、営業利益は 6 億 17 百万円（同 18.0%減）となりました。

## (エレクトロニクス事業)

長期化する円高や新興国メーカーの台頭による価格競争の激化に加え、国内外のエレクトロニクス市

場における消費低迷の影響を受け、電磁波シールド材「プラット®」、KBセーレン(株)のエレクトロニクス向け特殊原系および資材が前年同期比減収・減益となりました。

新事業のビスコテックス・システム販売については、多様化する消費者ニーズへの対応を省資源・省エネルギーで実現する生産システムとして拡販を進めております。

当事業では、繊維を始めとする高分子材料と導電性機能、さらに、インクジェット技術との技術融合など、当社グループの差別化シーズを活かした新商品開発を継続し、新たな価値創造に取り組んでいきます。

当事業の売上高は33億95百万円(前年同期比29.8%減)、営業損失は3億36百万円(前年同期は営業利益68百万円)となりました。

#### (環境・生活資材事業)

震災後、新設住宅着工戸数は緩やかな回復基調に戻りつつあり、その中でも住宅に対する省エネ(節電)ニーズは急速な高まりをみせています。このような市況の中、室内空間を快適にしつつ省エネを実現するKBセーレン(株)の特殊原系「イレイド®」を用いた遮熱ブラインド資材や遮熱型透湿ルーフィング材「ルーフ ラミテクト® RX」が売上高を伸ばしました。また、環境生活資材では、「より快適な暮らし」の提供を目指し、快適機能を持ち合わせた寝装商品等、当社グループの一貫機能を活かした差別化商品群が売上高を伸ばしました。

当事業の売上高は50億44百万円(前年同期比11.3%増)、営業利益は5億38百万円(同4.0%増)となりました。

#### (メディカル事業)

化粧品事業では、ネット販売強化に加え、百貨店での常設売場設置と継続的な催事展開による新規顧客の獲得に力を入れ、前年同期比増収・増益となりました。また、卓越した消臭機能を持つアンダーウェアシリーズ「DEOEST®」は、新商品投入と顧客開拓を進め売上高を伸ばしました。

メディカル資材では、医療用基材等のグループ一貫機能を活かした差別化商品が売上高を伸ばし、事業全体として前年同期比増収・増益となりました。

当事業の売上高は38億62百万円(前年同期比2.1%増)、営業利益は8億92百万円(同19.3%増)となりました。

#### (その他の事業)

セーレン商事(株)の保険代理事業のほか、いずれの事業も堅調に推移しました。

当期初には、連結子会社であった(株)セーレンシステムサービスを、医療情報システムのソフトウェア開発・販売事業の拡大を目的に吸収合併し、事業の選択と集中を行ないました。

当事業の売上高は7億61百万円(前年同期比3.6%増)、営業利益は2億37百万円(同16.9%減)となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期末における総資産は、受取手形及び売掛金などの流動資産は減少しましたが、海外子会社設立により投資有価証券が増加し、全体で前期末と比較して1億6百万円増加の888億9百万円となりました。負債の部は、長期借入金が増加しましたが、支払手形及び買掛金の減少などにより14億70百万円減少し、411億53百万円となりました。純資産は、利益剰余金の増加などにより15億76百万円増加し、476億56百万円となりました。

キャッシュ・フローの状況につきましては、営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前当期純利益33億4百万円、減価償却費31億77百万円などの資金増加要因があり、全体では49億34百万円の収入となりました。投資活動によるキャッシュ・フローは、投資有価証券の取得などにより53億10百万円の支出となり、その結果、フリー・キャッシュ・フローは3億75百万円の減少となりました。また、財務活動によるキャッシュ・フローは、借入金の返済や配当金の支払などにより、6億47百万円の支出となりました。これらの結果、現金及び現金同等物は前期末より9億96百万円減少し、当第3四半期末残高は23億70百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成 25 年 3 月期通期の連結業績予想につきましては、欧州債務問題の長期化による市況低迷や燃料価格の高騰、さらに、中国での日本車減産等の影響が出ており、今後も先行き不透明であることに変わりはありませんが、売上高 906 億円（前期比 5.3%増）、営業利益 42 億円（同 17.8%増）、経常利益 45 億円（同 16.2%増）、当期純利益 26 億円（同 22.7%増）といたします。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

（税金費用の計算）

税金費用については、当第 3 四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第 1 四半期連結会計期間より、平成 24 年 4 月 1 日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、これによる損益に対する影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,498	2,930
受取手形及び売掛金	21,789	20,898
商品及び製品	7,483	7,865
仕掛品	2,059	1,680
原材料及び貯蔵品	3,069	3,185
その他	2,370	2,252
貸倒引当金	△15	△13
流動資産合計	40,255	38,799
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	20,867	20,903
機械装置及び運搬具(純額)	8,473	8,498
工具、器具及び備品(純額)	297	347
土地	9,540	9,551
その他(純額)	2,180	1,053
有形固定資産合計	41,359	40,354
無形固定資産		
投資その他の資産	454	463
その他	6,681	9,232
貸倒引当金	△48	△40
投資その他の資産合計	6,633	9,191
固定資産合計	48,447	50,010
資産合計	88,703	88,809
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,067	12,377
短期借入金	7,593	7,040
未払法人税等	753	464
賞与引当金	1,016	384
その他	3,638	3,783
流動負債合計	26,068	24,050
固定負債		
長期借入金	9,930	10,462
役員退職慰労引当金	174	174
退職給付引当金	5,555	5,539
負ののれん	158	134
その他	735	793
固定負債合計	16,555	17,103
負債合計	42,623	41,153

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	17,520	17,520
資本剰余金	16,838	16,838
利益剰余金	19,090	20,522
自己株式	△4,147	△4,147
株主資本合計	49,301	50,733
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	251	359
為替換算調整勘定	△3,946	△3,923
その他の包括利益累計額合計	△3,694	△3,564
少数株主持分	473	486
純資産合計	46,079	47,656
負債純資産合計	88,703	88,809



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	63,780	68,651
売上原価	49,384	53,000
売上総利益	14,395	15,650
販売費及び一般管理費	11,608	12,450
営業利益	2,787	3,200
営業外収益		
受取利息	84	70
受取配当金	52	62
負ののれん償却額	30	24
為替差益	—	126
雇用調整助成金	119	48
その他	149	94
営業外収益合計	436	426
営業外費用		
支払利息	161	130
為替差損	177	—
その他	36	33
営業外費用合計	375	164
経常利益	2,848	3,463
特別利益		
固定資産売却益	34	8
受取和解金	15	—
その他	0	—
特別利益合計	49	8
特別損失		
固定資産処分損	50	23
投資有価証券評価損	1	143
その他の投資評価損	14	—
その他	0	0
特別損失合計	66	167
税金等調整前四半期純利益	2,831	3,304
法人税等	1,344	1,246
少数株主損益調整前四半期純利益	1,486	2,057
少数株主利益	21	30
四半期純利益	1,465	2,026

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,486	2,057
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△178	107
為替換算調整勘定	△1,032	22
その他の包括利益合計	△1,210	130
四半期包括利益	276	2,187
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	294	2,157
少数株主に係る四半期包括利益	△18	30

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	2,831	3,304
減価償却費	3,749	3,177
負ののれん償却額	△30	△24
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	6	△8
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△564	△631
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△33	△16
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△40	△0
受取利息及び受取配当金	△137	△132
支払利息	161	130
為替差損益 (△は益)	112	2
固定資産処分損益 (△は益)	16	14
投資有価証券評価損益 (△は益)	1	143
売上債権の増減額 (△は増加)	△2,872	896
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,462	△120
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,558	△671
未払消費税等の増減額 (△は減少)	66	△37
その他	331	326
<b>小計</b>	<b>3,692</b>	<b>6,352</b>
利息及び配当金の受取額	137	126
利息の支払額	△171	△137
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△1,639	△1,406
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>2,019</b>	<b>4,934</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△2,308	△2,121
有形固定資産の売却による収入	95	29
投資有価証券の取得による支出	△1,229	△2,672
その他	△53	△545
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△3,495</b>	<b>△5,310</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	1,686	△308
長期借入れによる収入	2,500	3,000
長期借入金の返済による支出	△2,714	△2,712
配当金の支払額	△599	△594
少数株主への配当金の支払額	△15	△16
その他	△22	△15
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>835</b>	<b>△647</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	△320	26
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△961	△996
現金及び現金同等物の期首残高	4,831	3,366
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,869	2,370

## (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報等

## 【セグメント情報】

## 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント(注) 1. 2.						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 3	四半期連 結損益計 算書計上 額(注) 4
	車輛資材	ハイファ ッション	エレクト ロニクス	環境・ 生活資材	メ ディ カル	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	28,531	21,357	4,839	4,534	3,781	63,044	735	63,780	—	63,780
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	1	9	337	—	—	348	647	995	△995	—
計	28,532	21,366	5,177	4,534	3,781	63,393	1,382	64,775	△995	63,780
セグメント利益	1,290	753	68	517	748	3,378	286	3,664	△877	2,787

当第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント(注) 1. 2.						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 3	四半期連 結損益計 算書計上 額(注) 4
	車輛資材	ハイファ ッション	エレクト ロニクス	環境・ 生活資材	メ ディ カル	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	34,594	20,991	3,395	5,044	3,862	67,889	761	68,651	—	68,651
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	1	344	—	—	345	326	672	△672	—
計	34,594	20,993	3,739	5,044	3,862	68,235	1,088	69,323	△672	68,651
セグメント利益又は損 失(△)	2,136	617	△336	538	892	3,848	237	4,086	△886	3,200

(注) 1. 各報告セグメント区分の主な製品等は下記のとおりであります。

- (1) 車輛資材……………自動車・鉄道車輛等内装材(シート材、エアバッグ、加飾部品)
- (2) ハイファッション……………各種衣料製品、衣料用繊維加工
- (3) エレクトロニクス……………ビスコテックス・システム及びサプライ、工業用ワイピングクロス、電子機器
- (4) 環境・生活資材……………建築用資材、インテリア用資材、介護・エコ関連資材
- (5) メディカル……………化粧品、浄水器及びフィルター、医療用製品

なお、「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ソフトウェアの開発及び販売、保険代理業を含んでおります。

2. 第2四半期連結累計期間より、従来の「オートモーティブ」は「車輛資材」に、「インテリア・ハウジング」は「環境・生活資材」に、セグメントの名称をそれぞれ変更しております。なお、当該変更はセグメントの名称変更のみであり、事業区分の方法に変更はありません。

3. セグメント利益の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用(前第3四半期連結累計期間987百万円、当第3四半期連結累計期間1,012百万円)が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務部門などの管理部門に係る費用であります。

4. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。